静銀　リクシル　ナイスなど５社が組み

新会社設立　H27.8.27　新聞発表より

日本経済新聞　201

住宅メンテの新会社

静岡銀　LIXILなど5社と

静岡銀行は26日、LIXILグループやエディオンなど5社と組み、新会社を設立すると発表した。住宅メーカーなどに対して住居の修繕やリフォームの工事業者を仲介するほか、窓口業務を代理で請け負う。静岡銀行は5%、1000万円を出資する。一般家庭のメンテナンス需要を開拓し、5年後には30億円の売上高を見込む。

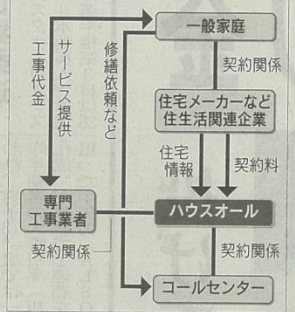
新会社の名称は「HOUSALL（ハウスオール）」で9月1日に設立する。LIXILが42・5%、桧家ホールディングスとエディオンが15%、住宅分譲を手掛けるナイスが5%、インターネットサイト開発を手掛けるフロム・ナウが2・5%を出資する。社長はLIXILから転職し、従業員は各社からの出向者で構成する。

住宅メーカーは新築販売を主力とする企業が多く、販売後のメンテナンスやリフォームの需要を取り込めずにいる。不定期の水回りの故障などに人員を割くなど非効率な点も多い。新会社が外部にコールセンターや専門業者を置き、住宅メーカーが対応しきれない住宅関連の修繕・メンテナンス需要の受け皿になる。

新会社は住宅メーカーや工事業者をプラットフォームに取り込み、住宅メーカーからの契約金を収益源とする。住宅情報の管理を通じて家庭のリフォームニーズを提案するなることで、リフォーム市場の活性化にもつなげる考えだ。

静岡銀はリフォーム向けなどで金融商品を紹介する機会を増やし、顧客取り込みにつなげる。県内の住宅メーカーや専門業者を新会社のプラットフォームに勧誘することで、地元企業の収益拡大の後押しも狙う。

新会社「ハウスオール」の事業プラットフォーム



静銀が住宅分野進出

来月、5社と新会社

静岡銀行は26日、住宅設備メーカーのLIXILグループ（東京）など5社と住生活サービスの新会社「HOUSALL（ハウスオール）」を9月1日付で設立すると発表した。中期経営計画の基本戦略に掲げた「新事業領域への挑戦」を具体化した取り組みで、静岡銀が金融以外の分野の会社設立に参加するのは今回が初めて。

ハウソールはほかに住宅建築の桧家ホールディングス（東京）、建材販売・住宅建築のナイス（神奈川）、家電専門店のエディオン（大阪）、ウェブ開発支援のフロム・ナウ（東京）が参加する。

静岡銀の出資は1千万円で、出資比率は5%。非常勤取締役1人と経営管理担当マネジャー1人を派遣する。

ハウソールは住宅のメンテナンス、補修、リフォームなどにワンストップで対応する。住宅メーカー、工務店などと契約を結び、それぞれの顧客にサービスを提供する。顧客の住宅履歴を把握することで、最適なメンテナンスプランなどを顧客に提案していく。

施工などは「サービスプロバイダ」と位置付ける各地の専門業者が行う。静岡銀は住宅のリフォームや新設備導入に適したローン商品などを提供していく方針。

静岡銀は「ハウソールとサービスプロバイダ企業を結ぶことで、住生活分野から地域経済の活性化に取り組み、地方創生につなげていきたい」（経営企画部）としている。

詳細が分かり次第ご連絡させていただきます

株式会社カワイ